



平成20年9月2日

各 位

会 社 名	株式会社ウィル
代 表 者 名	代表取締役 岡本 俊人 (コード番号：3241)
問 合 せ 先	取締役総務グループマネージャー
役 職 ・ 氏 名	栗野 泉
電 話	0797-74-7272

### (修正) 修正後発事象の発生に伴う平成20年12月期 中間決算短信の一部修正について

平成20年8月8日に発表いたしました当社「平成20年12月期中間決算短信」について、下記の理由に基づき修正いたします。

#### 記

##### 【修正理由】

当社は、本日付で別途発表いたしております「特別損失の計上及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」に記載しております通り、平成20年9月2日開催の取締役会承認を経て、マンション共同開発プロジェクト物件「ブランズ苦楽園リヴェール」の当社事業シェア売却につき、東急不動産株式会社（東京都渋谷区：代表取締役社長 金指潔）との間に売買契約を締結いたしました。この決議及び契約締結の完了に伴い、売却時（平成20年9月30日）に発生が見込まれる損失が、中間決算における修正後発事象に該当するため、平成20年6月中間期の中間連結財務諸表並びに中間財務諸表に反映させることにいたしました。

これにより、中間連結決算における特別損失としてたな卸資産評価損137,206千円を計上し、特別損失計上額の合計は150,892千円（修正前13,686千円）に、特別損失の追加発生に伴う繰延税金資産の計上により法人税等調整額は△123,270千円（修正前△66,729千円）となり、中間純損失は166,181千円（修正前85,516千円）となりました。

また、個別中間決算は、特別損失としてたな卸資産評価損137,206千円を計上し、特別損失計上額の合計は150,892千円（修正前13,686千円）に、特別損失の追加発生に伴う繰延税金資産の計上により法人税等調整額は△101,607千円（修正前△45,066千円）となり、中間純損失は146,082千円（修正前65,417千円）となりました。

なお、上記の修正に伴い、通期業績予想の当期純利益につきましては、連結で77,736千円の純損失（修正前純利益11,703千円）に、個別で81,160千円の純損失（修正前純利益4,163千円）に修正いたしました。

【修正内容】

(1) 1 頁目「1. 20年6月中間期の連結業績(1) 連結経営成績」の20年6月中間期欄

【修正前】		【修正後】	
中間(当期)純利益	△85,516千円	中間(当期)純利益	△166,181千円
1株当たり中間(当期)純利益	△7,562円48銭	1株当たり中間(当期)純利益	△14,695円96銭

(2) 1 頁「1. 20年6月中間期の連結業績(2) 連結財務状態」の20年6月中間期

【修正前】		【修正後】	
総資産	8,129,764千円	総資産	8,073,443千円
純資産	972,283千円	純資産	891,618千円
自己資本比率	12.0%	自己資本比率	11.0%
1株当たり純資産	85,981円94銭	1株当たり純資産	78,848円47銭
(参考)自己資本 20年6月中間期	972,283千円	(参考)自己資本 20年6月中間期	891,618千円

(3) 1 頁「2. 配当の状況 20年12月期(予想)」

【修正前】		【修正後】	
期末欄	2,000円00銭	期末欄	—円—銭
年間欄	2,000円00銭	年間欄	—円—銭

(4) 1 頁「3. 20年12月期の連結業績予想」

【修正前】		【修正後】	
当期純利益	11,703千円	当期純損失	77,736千円
1株当たり当期純利益	1,034円93銭	1株当たり当期純利益	△6,874円48銭
「当期純利益」の対前年増減率	△76.1%	「当期純利益」の対前年増減率	—

(5) 2 頁「(参考)個別業績の概要 1. 20年6月中間期の個別業績(1) 個別経営成績」の20年6月中間期

【修正前】		【修正後】	
中間(当期)純利益	△65,417千円	中間(当期)純利益	△146,082千円
1株当たり中間(当期)純利益	△5,785円03銭	1株当たり中間(当期)純利益	△12,918円50銭

(6) 2 頁「(参考)個別業績の概要 1. 20年6月中間期の個別業績(2) 個別財政状態」の20年6月中間期欄

【修正前】		【修正後】	
総資産	7,466,907千円	総資産	7,410,586千円
純資産	957,575千円	純資産	876,909千円
自己資本比率	12.8%	自己資本比率	11.8%
1株当たり純資産	84,681円22銭	1株当たり純資産	77,547円75銭
(参考)自己資本 20年6月中間期	957,575千円	(参考)自己資本 20年6月中間期	876,909千円

(7) 2 頁「(参考)個別業績の概要 2. 20年12月期の個別業績予想」

【修正前】		【修正後】	
当期純利益	4,163千円	当期純損失	81,160千円
1株当たり当期純利益	368円14銭	1株当たり当期純利益	△7,177円22銭
「当期純利益」の対前年増減率	△81.6%	「当期純利益」の対前年増減率	—

(8) 3頁「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析 ①当中間期の経営成績」

【修正前】

その一方で、開発物件における販売期間が長期化したことに伴い販売促進費等の費用が増加することとなりました。また、リノベーション物件におけるたな卸資産を精査し、将来に渡り販売の長期化が想定される物件については早期に販売を完了させる施策にも取り組んでまいりました。これらの要因により、一時的に売上高利益率が低下いたしております。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高は1,750,281千円(前年同期比40.4%増)、営業損失は119,879千円(前年同期営業損失10,109千円)、経常損失は135,594千円(前年同期経常損失43,464千円)、中間純損失は85,516千円(前年同期純損失32,467千円)となりました。

【修正後】

その一方で、開発物件における販売期間が長期化したことに伴い販売促進費等の費用が増加することとなりました。また、開発物件及びリノベーション物件におけるたな卸資産を精査し、将来に渡り販売の長期化が想定される物件については早期に販売を完了させる施策にも取り組んでまいりました。これらの要因により、一時的に売上高利益率が低下していると共に、特別損失150,892千円を計上しております。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高は1,750,281千円(前年同期比40.4%増)、営業損失は119,879千円(前年同期営業損失10,109千円)、経常損失は135,594千円(前年同期経常損失43,464千円)、中間純損失は166,181千円(前年同期純損失32,467千円)となりました。

(9) 4頁「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析 ①当中間期の経営成績(開発分譲事業)」

【修正前】

開発分譲事業におきましては、前期より継続して販売しております物件について、安易な販売価格の見直しを行わず、通常の販売活動を継続してまいりました。しかしながら、折からの新築マンション不況の影響を受け、販売期間が長期化したことで、販売促進費等の費用が増加し、売上高総利益率は低下することとなりました。

この結果、売上高は636,342千円(前年同期比60.7%増)、営業利益は12,310千円(前年同期比3.8%減)となりました。また、マンション共同開発プロジェクト「ブランズ須磨鷹取りヴェール」の当社シェア分を売却したことにより、特別損失を13,686千円計上しております。

【修正後】

開発分譲事業におきましては、前期より継続して販売しております物件について、安易な販売価格の見直しを行わず、通常の販売活動を継続してまいりました。しかしながら、折からの新築マンション不況の影響を受け、販売期間が長期化したことで、販売促進費等の費用が増加し、売上高総利益率は低下することとなりました。

この結果、売上高は636,342千円(前年同期比60.7%増)、営業利益は12,310千円(前年同期比3.8%減)となりました。また、マンション共同開発プロジェクト「ブランズ須磨鷹取りヴェール」並びに「ブランズ苦楽園リヴェール」の当社シェア分の売却に伴う特別損失を150,892千円計上しております。

(10) 5頁「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析 ②通期の見通し」

【修正前】

これらの要因から、通期の業績は、売上高6,445,484千円、営業利益66,759千円、経常利益34,390千円、当期純利益11,703千円を見込んでおります。

【修正後】

これらの要因から、通期の業績は、売上高6,445,484千円、営業利益66,759千円、経常利益34,390千円、当期純損失77,736千円を見込んでおります。

(11) 6頁「1. 経営成績(2) 財政状態に関する分析 ①資産・負債及び純資産の状況に関する分析」

【修正前】

当中間連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より45,246千円増加し、8,129,764千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より56,499千円増加し、6,752,104千円となりました。主な要因といたしましては、その他の内訳として繰延税金資産が65,032千円、マンション共同開発事業である物件「ブランズ須磨鷹取りヴェール」の当社シェア分売却等により未収入金が54,572千円及び開発物件に関連する広告宣伝費の前払い等により前払費用が44,275千円増加した一方、たな卸物件の販売が進んだことによりたな卸資産69,355千円が、未収消費税等38,466千円がそれぞれ減少したことによるものであります。

【修正後】

当中間連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より11,074千円減少し、8,073,443千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より178千円増加し、6,695,783千円となりました。主な要因といたしましては、その他の内訳である繰延税金資産が121,573千円、マンション共同開発事業である物件「ブランドズ須磨鷹取りヴェール」の当社シェア分売却等により未収入金が55,534千円増加した一方、たな卸物件の販売が進んだこと及びマンション共同開発事業である物件「ブランドズ苦楽園リヴェール」の売買契約締結に伴う評価損計上により、たな卸資産154,995千円が、未収消費税等38,466千円がそれぞれ減少したことによるものであります。

(12) 6頁「1. 経営成績（2）財政状態に関する分析 ①資産・負債及び純資産の状況に関する分析」

【修正前】

流動負債の残高は、前連結会計年度末より351,542千円増加し、6,305,481千円となりました。主な要因といたしましては、開発物件に関連したプロジェクト資金として短期借入金が449,200千円、社債の償還期日が1年以内となったことにより1年以内償還予定社債が100,000千円それぞれ増加したことにより、仕入債務支払いに伴う買掛金が204,205千円減少したことを吸収したものであります。

【修正後】

流動負債の残高は、前連結会計年度末より375,886千円増加し、6,329,825千円となりました。主な要因といたしましては、開発物件に関連したプロジェクト資金として短期借入金が449,200千円、社債の償還期日が1年以内となったことにより1年以内償還予定社債が100,000千円それぞれ増加したことにより、仕入債務支払いに伴う買掛金が204,205千円減少したことを吸収したものであります。

(13) 7頁「1. 経営成績（2）財政状態に関する分析 ①資産・負債及び純資産の状況に関する分析」

【修正前】

純資産は、前連結会計年度末より99,651千円減少し、972,283千円となりました。これは、利益配当14,135千円の支払い及び中間純損失85,516千円による利益剰余金の減少によるものであります。

【修正後】

純資産は、前連結会計年度末より180,316千円減少し、891,618千円となりました。これは、利益配当14,135千円の支払い及び中間純損失166,181千円による利益剰余金の減少によるものであります。

(14) 7頁「1. 経営成績（2）財政状態に関する分析 ②キャッシュ・フローの状況に関する分析（営業活動によるキャッシュ・フロー）」

【修正前】

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純損失149,281千円に対し、仕入債務の減少による204,205千円、受託販売物件の手付金等預り金を事業主様へお支払いしたことによる51,900千円及び法人税等の支払い45,978千円等により資金が減少したことを主な要因として、たな卸物件の販売が進んだことに伴うたな卸資産の減少による69,355千円及び未払消費税等の増加による69,530千円等により資金が増加したことを吸収し、320,336千円の資金減少となりました。

【修正後】

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純損失286,487千円に対し、仕入債務の減少による204,205千円、受託販売物件の手付金等預り金を事業主様へお支払いしたことによる51,900千円及び法人税等の支払い45,978千円等により資金が減少したことを主な要因として、たな卸資産のうち共同開発物件の当社シェア分売却契約締結に伴う評価損の計上、並びに販売用不動産の販売が進捗したことに伴うたな卸資産の減少による154,995千円、及び未払消費税等の増加による69,530千円等により資金が増加したことを吸収し、320,336千円の資金減少となりました。

(15) 7頁「1. 経営成績(3) 利益分配に関する基本方針及び当期の配当」

【修正前】

なお、平成20年12月期の配当は1株当たり2,000円を予定しております。

【修正後】

しかしながら、平成20年12月期における当社の業績は、特別損失の計上等により当期純損失を見込んでおりますことから、経営体質及び財務体質の強化を図る必要性を鑑み、誠に遺憾ではございますが今期の配当を見送らせていただきたいと存じます。

(16) 9頁「1. 経営成績(4) 事業等のリスク ②事業展開について iii) プロジェクト案件の拡大について」

【修正前】

また、開発分譲事業における現在進行中のプロジェクト案件は、過年度の当社プロジェクト案件と比較して大規模なプロジェクトに着手していること等から、連結総資産額に占めるたな卸資産の比率は、平成19年12月期は74.5%、平成20年6月期は73.2%と高い水準にあります。当社グループの今後における事業展開において、これらプロジェクトの開発及び販売計画が想定通り進捗する保証はなく、何らかの理由により当該プロジェクトの中止、延期及び販売期間の長期化等が生じた場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

【修正後】

また、開発分譲事業における現在進行中のプロジェクト案件は、過年度の当社プロジェクト案件と比較して大規模なプロジェクトに着手していること等から、連結総資産額に占めるたな卸資産の比率は、平成19年12月期は74.5%、平成20年6月期は72.7%と高い水準にあります。当社グループの今後における事業展開において、これらプロジェクトの開発及び販売計画が想定通り進捗する保証はなく、何らかの理由により当該プロジェクトの中止、延期及び販売期間の長期化等が生じた場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(17) 11頁「1. 経営成績(4) 事業等のリスク ④財政状態および経営成績の変動について ii) 有利子負債の依存度について」

【修正前】

前述の通り、当社は、近年においてリノベーション事業及び開発分譲事業におけるプロジェクト案件の拡大を図っていることから、連結総資産額に占める有利子負債の比率は、平成19年12月期76.7%、平成20年6月期80.5%と高い水準にあります。今後においては、資金調達手段の多様化に積極的に取り組むことにより自己資本の充実に注力する方針ですが、市場金利が上昇する局面においては支払利息等の増加により、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

【修正後】

前述の通り、当社は、近年においてリノベーション事業及び開発分譲事業におけるプロジェクト案件の拡大を図っていることから、連結総資産額に占める有利子負債の比率は、平成19年12月期76.7%、平成20年6月期81.1%と高い水準にあります。今後においては、資金調達手段の多様化に積極的に取り組むことにより自己資本の充実に注力する方針ですが、市場金利が上昇する局面においては支払利息等の増加により、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(18) 17・18頁「(1) 中間連結財務諸表 ①中間連結貸借対照表」の当中間連結会計期間末欄

【修正前】

(I 流動資産)	
3. たな卸資産	5,952,722千円
4. その他	264,548千円
流動資産合計	6,752,104千円
資産合計	8,129,764千円
「流動資産合計」の構成比	83.1%
「固定資産合計」の構成比	16.9%

【修正後】

(I 流動資産)	
3. たな卸資産	5,867,082千円
4. その他	293,867千円
流動資産合計	6,695,783千円
資産合計	8,073,443千円
「流動資産合計」の構成比	83.0%
「固定資産合計」の構成比	17.0%

(I 流動負債)	
4. その他	476,580千円
流動負債合計	6,305,481千円
負債合計	7,157,481千円
「流動負債合計」の構成比	77.5%

(I 流動負債)	
4. その他	500,924千円
流動負債合計	6,329,825千円
負債合計	7,181,825千円
「流動負債合計」の構成比	78.4%

「固定負債合計」の構成比	10.5%	「固定負債合計」の構成比	10.6%
「負債合計」の構成比	88.0%	「負債合計」の構成比	89.0%
(I 株主資本)		(I 株主資本)	
3. 利益剰余金	512,535千円	3. 利益剰余金	431,870千円
株主資本合計	972,283千円	株主資本合計	891,618千円
純資産合計	972,283千円	純資産合計	891,618千円
負債純資産合計	8,129,764千円	負債純資産合計	8,073,443千円
「3. 利益剰余金」の構成比	6.3%	「3. 利益剰余金」の構成比	5.3%
「株主資本合計」の構成比	12.0%	「株主資本合計」の構成比	11.0%
「純資産合計」の構成比	12.0%	「純資産合計」の構成比	11.0%

(19) 19頁「(1) 中間連結財務諸表 ②中間連結損益計算書」の当中間連結会計期間欄

【修正前】		【修正後】	
販売用不動産売却損	13,686千円	1. たな卸資産売却損	13,686千円
		2. たな卸資産評価損	137,206千円
税金等調整前中間(当期)純利益	△149,281千円	税金等調整前中間(当期)純利益	△286,487千円
法人税等調整額	△66,729千円	法人税等調整額	△123,270千円
法人税等調整額合計	△63,764千円	法人税等調整額合計	△120,305千円
中間(当期)純利益	△85,516千円	中間(当期)純利益	△166,181千円
「特別損失」の百分比	0.8%	「特別損失」の百分比	8.6%
「税金等調整前中間(当期)純利益」の百分比	△8.5%	「税金等調整前中間(当期)純利益」の百分比	△16.4%
「法人税等調整額合計」の百分比	△3.6%	「法人税等調整額合計」の百分比	△6.9%
「中間(当期)純利益」の百分比	△4.9%	「中間(当期)純利益」の百分比	△9.5%

(20) 20頁「(1) 中間連結財務諸表 ③中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結期間」

利益剰余金欄

【修正前】		【修正後】	
中間純利益	△85,516千円	中間純利益	△166,181千円
中間連結会計期間中の変動額合計	△99,651千円	中間連結会計期間中の変動額合計	△180,316千円
平成20年6月30日残高	512,535千円	平成20年6月30日残高	431,870千円

株主資本合計欄

【修正前】		【修正後】	
中間純利益	△85,516千円	中間純利益	△166,181千円
中間連結会計期間中の変動額合計	△99,651千円	中間連結会計期間中の変動額合計	△180,316千円
平成20年6月30日残高	972,283千円	平成20年6月30日残高	891,618千円

純資産合計

【修正前】		【修正後】	
中間純利益	△85,516千円	中間純利益	△166,181千円
中間連結会計期間中の変動額合計	△99,651千円	中間連結会計期間中の変動額合計	△180,316千円
平成20年6月30日残高	972,283千円	平成20年6月30日残高	891,618千円

(21) 21頁「(1) 中間連結財務諸表 ④中間連結キャッシュ・フロー計算書 I 営業活動によるキャッシュ・フロー」の当中間連結会計期間欄

【修正前】		【修正後】	
税金等調整前中間(当期)純利益	△149,281千円	税金等調整前中間(当期)純利益	△286,487千円
たな卸資産の増減額	69,355千円	たな卸資産の増減額	154,995千円
前払費用の増減額	△40,247千円	前払費用の増減額	△11,008千円
未払金の増減額	13,173千円	未払金の増減額	37,517千円
その他	△67,493千円	その他	△69,509千円

(22) 26頁「注記事項（中間連結貸借対照表関係）※2. 担保資産及び担保付債務」の当中間連結会計期間末欄

【修正前】		【修正後】	
たな卸資産	6,073,637千円	たな卸資産	5,987,997千円
「担保資産」の計	7,262,612千円	「担保資産」の計	7,176,972千円

(23) 33頁「(1株当たり情報)」の当中間連結会計期間末欄

【修正前】		【修正後】	
1株当たり純資産額	85,981円94銭	1株当たり純資産額	78,848円47銭
1株当たり中間純利益金額	△7,562円48銭	1株当たり中間純利益金額	△14,695円96銭

「1株当たり中間（当期）純利益金額の算定上の基礎」		「1株当たり中間（当期）純利益金額の算定上の基礎」	
中間（当期）純利益	△85,516千円	中間（当期）純利益	△166,181千円
普通株式に係る中間（当期）純利益	△85,516千円	普通株式に係る中間（当期）純利益	△166,181千円

(24) 34・35頁「5. 個別中間財務諸表等（1）中間貸借対照表」の当中間会計期間末欄

【修正前】		【修正後】	
(I 流動資産)		(I 流動資産)	
3. たな卸資産	5,505,010千円	3. たな卸資産	5,419,370千円
4. その他	335,589千円	4. その他	364,908千円
流動資産合計	6,036,036千円	流動資産合計	5,979,715千円
資産合計	7,466,907千円	資産合計	7,410,586千円
「流動資産合計」の構成比	80.9%	「流動資産合計」の構成比	80.7%
「固定資産合計」の構成比	19.1%	「固定資産合計」の構成比	19.3%
(I 流動負債)		(I 流動負債)	
4. その他	580,946千円	4. その他	605,291千円
流動負債合計	5,666,810千円	流動負債合計	5,691,154千円
負債合計	6,509,332千円	負債合計	6,533,676千円
「流動負債合計」の構成比	75.9%	「流動負債合計」の構成比	76.8%
「固定負債合計」の構成比	11.3%	「固定負債合計」の構成比	11.4%
「負債合計」の構成比	87.2%	「負債合計」の構成比	88.2%
(I 株主資本)		(I 株主資本)	
繰延利益剰余金	497,827千円	繰延利益剰余金	417,161千円
利益剰余金合計	497,827千円	利益剰余金合計	417,161千円
株主資本合計	957,575千円	株主資本合計	876,909千円
純資産合計	957,575千円	純資産合計	876,909千円
負債純資産合計	7,466,907千円	負債純資産合計	7,410,586千円
「資本剰余金合計」の構成比	2.5%	「資本剰余金合計」の構成比	2.6%
「利益剰余金合計」の構成比	6.7%	「利益剰余金合計」の構成比	5.6%
「株主資本合計」の構成比	12.8%	「株主資本合計」の構成比	11.8%
「純資産合計」の構成比	12.8%	「純資産合計」の構成比	11.8%

(25) 36頁「5. 個別中間財務諸表等（2）中間損益計算書」の当中間会計期間欄

【修正前】		【修正後】	
販売用不動産売却損	13,686千円	1. たな卸資産売却損	13,686千円
		2. たな卸資産評価損	137,206千円
税引前中間（当期）純利益	△109,782千円	税引前中間（当期）純利益	△246,988千円
法人税等調整額	△45,066千円	法人税等調整額	△101,607千円
法人税等調整額合計	△44,365千円	法人税等調整額合計	△100,906千円
中間（当期）純利益	△65,417千円	中間（当期）純利益	△146,082千円
「特別損失」の百分比	1.0%	「特別損失」の百分比	11.1%
「税引前中間（当期）純利益」の百分比	△8.0%	「税引前中間（当期）純利益」の百分比	△18.1%
「法人税等調整額合計」の百分比	△3.2%	「法人税等調整額合計」の百分比	△7.4%
「中間（当期）純利益」の百分比	△4.8%	「中間（当期）純利益」の百分比	△10.7%

(26) 37頁「5. 個別中間財務諸表等（3）中間株主資本等変動計算書 当中間会計期間」

繰延利益剰余金欄

【修正前】		【修正後】	
中間当期純利益	△65,417千円	中間当期純利益	△146,082千円
中間会計期間中の変動額合計	△79,552千円	中間会計期間中の変動額合計	△160,217千円
平成20年6月30日残高	497,827千円	平成20年6月30日残高	417,161千円

利益剰余金計欄

【修正前】		【修正後】	
中間当期純利益	△65,417千円	中間当期純利益	△146,082千円
中間会計期間中の変動額合計	△79,552千円	中間会計期間中の変動額合計	△160,217千円
平成20年6月30日残高	497,827千円	平成20年6月30日残高	417,161千円

株主資本合計欄

【修正前】		【修正後】	
中間当期純利益	△65,417千円	中間当期純利益	△146,082千円
中間会計期間中の変動額合計	△79,552千円	中間会計期間中の変動額合計	△160,217千円
平成20年6月30日残高	957,575千円	平成20年6月30日残高	876,909千円

純資産合計欄

【修正前】		【修正後】	
中間当期純利益	△65,417千円	中間当期純利益	△146,082千円
中間会計期間中の変動額合計	△79,552千円	中間会計期間中の変動額合計	△160,217千円
平成20年6月30日残高	957,575千円	平成20年6月30日残高	876,909千円

(27) 40頁「注記事項（中間貸借対照表関係）※2. 担保資産及び担保付債務」の当中間会計期間末欄

【修正前】		【修正後】	
たな卸資産	5,590,334千円	たな卸資産	5,504,694千円
「担保資産」の計	6,779,309千円	「担保資産」の計	6,693,669千円